

令和４年度第１回三郷市立児童館運営協議会	
開 催 日	令和４年８月２６日（金）
開 催 方 法	書面開催
意見等回答期間	令和４年８月２６日（木）から９月９日（金）
報 告 事 項	１．副会長選出について ２．令和３年度後期（１０月～３月）事業報告について ３．令和３年度後期モニタリング評価報告書について
委 員 氏 名 （意見書等提出者１２名） （副会長選出提出者１３名）	会長:北澤 富美、岩間 かおり、徳永 順子、榎本 美穂、吉村 達則、荒井 洋美、高鹿 祐子、川口 奈津美、櫻井 早希、小柴 彩、 佐藤 明美、佐々木 秀年、斎藤千秋
報告事項 １．副会長選出について 副会長 榎本 美穂 【表決】 承認：１３ 反対：０ 【ご意見等】 なし ２．令和３年度後期（１０月～３月）事業報告について 【表決】 承認：１２ 反対：０ 【ご意見等】 委 員 ・前年度のように閉館で利用者がゼロということはなかった分、全体として利用者も増えたと思うが、HPに掲載した事業について、どのくらいの利用者があったのか、把握できたらさらに良い。 事 務 局 ・事業報告書に載っている人数が参加者数となり、全ての事業をHPに掲載している。 委 員 ・今後もコロナの感染拡大もあるかと思うが、変わらず感染対策をして色々な事業を開催して欲しい。 事 務 局 ・季節のイベント等人気のある事業につきましては、開催を２部制にして参加人数を増やす等の工夫を検討していきたい。 委 員 ・食に関係した事業やボール遊びなど、まだまだコロナ予防のために中止のままの事業も多くあり少し寂しいが、クイズ・ぬりえ・チャレンジ系の気軽に参加できる事業などが人気のようなので、その部分をもっと充実してくれると嬉しい。 事 務 局 ・食に関係した事業は中止しているが、ボールの貸し出しや事業は各施設の状況に合わせて徐々に再開しています。 委 員 ・防災訓練の実施が今期１館のみで参加者も少なく、コロナ禍で実施することは難しいとは思いますが、いざという時の対応に不安を感じた。 事 務 局 ・防災訓練は年１回、消防署に依頼して隣接の施設と合同で行っているものだけを事業報告に掲載した。避難訓練は地震や台風、水害など様々な状況の設定で毎月、利用者の協力を得て行っているが訓練のため、事業報告には掲載していない。各館定期的に実施している。	

委員	・中高生タイムは、これからも大切にしていきたい。子どもにとって地域に居場所があり、誰かと絆が繋がる場があるというのは、とても大事なことだと思う。中高生タイムが中高生にとって行きたいと思える取り組みを期待している。
事務局	・参加者が少なくても、中高生の場所提供などは続けてもらいたい。
事務局	・開館時間を延長した中高生タイムを3回開催したが、楽しみにしていても当日は忘れてしまうようで遊びに来ていてそのまま残る子が多い。後日、中高生タイムのことを知って残念に思う子もいた。定着するよう工夫して事業を行っていく。参加した子ども達はとても楽しんでいるので子どもの居場所として継続していきたい。
委員	・コロナ感染状況によるが、今子育てしている保護者の方々の子育ての悩みなどを共有し、ざっくばらんにお話ししながら交流できる事業もあったらと思う。
事務局	・南と早稲田については、併設の「つどいの広場」にて、子育て中の保護者が子育ての悩みを共有できるよう、取り組んでいる。3館ともにコロナ禍で一部開催できていないが、民生委員の方々に来てもらい、そうした場の提供に努めている。
委員	・南児童センターは、来館者数がとても多く、対象者の取り組み方等を全体で共有できると全体の活性化につながるのではないかな。
事務局	・南児童センターをはじめ、各館の取り組み方を話し合い、来館者数の増加につなげていく。
委員	・今まで児童館へ伺った事がなく、学校からくる手紙の情報しか知らなかったが、毎月 of 色々な企画はPTAイベントの参考にもなり、ぜひ子どもと一緒に伺いたいと思った。
	・令和3年度はコロナ禍2年目ということで、児童館運営側も利用者側も前年度の経験を踏まえて、運営、利用ができたと思う。
	・中止になった事業もあったが、出来る範囲で対面という形でできることも少しでも増えたので良かった。
	・利用者人数が前年度に比べて、それぞれ3倍程増加している。コロナ禍でも少しずつ外へ出る人が増えているのだと実感した。
	・乳幼児親子参加の事業を2部制にしたり定員を決めて開催していて、安心して参加しやすくされていた。
	・どの事業も共通して感染対策がしっかり徹底していた。(自身で親子で色々に参加させていただいた時の率直な感想)
	・子どもたちが、楽しみながら体験できる事業を開催していただき、ありがたい。
	・コロナ禍で大変な苦労があったかと思う。そのような状況の中でも、前年度よりも利用者が大きく増え、市民の皆様に活用されていて良い。
	・未だに続くコロナ禍だが、少しずつ気をつけながら日常を取り戻しているように感じる。
	・開館時間の細かい時間の区切りが無くなった事と、利用人数制限が緩和された事で利用しやすくなった。
	・体育館のボール遊び利用時間は予約制となり、いつでも入れる気軽さがあったので、少し残念と思ったが、予約制の方が小さいお子さんでも安心して遊べるので良い面もあったと思った。
	・子どもが未就学児の頃は、平日午前に行われるすくすくリズムを楽しみに通っていた。現在は感染予防をしながら大変な面もあると思うが、小さいお子さんを持つお母さんの為にも、またできる日が来ると良いと思う。
	・コロナ対策も慣れてきて少しずつ参加人数が多くなり賑わっていることが確認できた。
	・子育てしている親御さん、また小さなお子さんがイベントを通して沢山のひとと交流できるのはとてもいいことなので、みんなが待っていたんだなと感じた。
	・事業によっては、参加人数が少ないものもあったようであるが、自ら確認しないとやはりイベントは見落としがちなので、周知の仕方は難しいと思う。
	・南児童センターの工作ボンドがなかなか乾かないと言うお話が出てきていましたが、安全性が確認できればグルーガンを使うと糊付けもスムーズになると思った。
	・3年度も、児童館の職員の方々は、運営方法、衛生面においても感染対策が大変だったと思うが、しっかり対策されており、利用者は安心して利用できたのではないかな。

委

- 員・感染対策をしても断念せざるを得ないイベントもあったと思いますが、児童館を利用している立場として、消毒をしっかりとれていること、子どもたちに感染対策についてちゃんと声をかけていることを確認できているので安心した。
- ・コロナ感染の再拡大により、中止になった事業も多々あったなか、報告書を見ると3館ともに昨年度よりも利用者人数が倍増していて、地域において児童館の必要性を感じた。
 - ・どのセンターも新しい取り組み等で少しずつ来館が増えてきていて、今後さらに児童館が周知されると思う。
 - ・3月まではまだまだコロナが広がっている事から中止の事業もあり、利用者で参加できないなか、動画や工作などをHP掲載するなど工夫があってよいと思った。
 - ・北児童館での県民の日スペシャルは、職員が対応できないほど参加者が多かったのは、とても良いと思った。また、クリスマスパーティーにも参加希望者が多かったので、人気のある事業は拡大して対応して頂けると子どもたちも楽しめるかと思う。
 - ・南児童センターでは、どの事業も参加人数が多く、周知方法もしっかりされていると感じた。なかでも、季節ごとのイベントもかなり工夫されているようでとてもいいと思う。
 - ・早稲田児童センターは、中止事業が多かったが、親子事業には人が多く参加できていていいと思う。
 - ・移動児童館は、広報活動としてとても良く、施設内だけでなく、天候に左右されるので考慮事項が増えるので大変だが、公園など屋外でも実施されたらよいと思う。
 - ・移動児童館の事業は、コロナ禍にもかかわらず定着しつつあり、今後も引き続き広く周知して、幅広い年齢層に対応して欲しい。
 - ・移動児童館の取り組みは、準備等が大変かと思うが、南地区などへも是非行って頂ければと思う。
 - ・6月に娘と南児童センターに伺った。コロナ感染対策も十分されていて安心して遊べた。
 - ・使ったおもちゃなど、毎回アルコール消毒をしており大変な事ですが、子どもに安心して使ってもらえる事でとてもありがたい事だと思う。
 - ・中高生向けの事業の参加がいまいちなので、何かもっと中高生への認知を広げられたいと思う。
 - ・南児童センターの「こどもまつり」(6/5)と北児童館の「こどもフェスティバル」(8/27)にそれぞれ参加させていただいた。コロナ感染対策として定員を減らし完全予約制での開催だが、チケットも完売した、内容も密にならないように対策を講じて、職員・ボランティアの皆さんの苦労が伺われた。マスク越しだが、子どもたちの明るい笑顔が見られて嬉しい気持ちになった。今後も引き続き感染対策を徹底して、事業が安心安全に行われる事を願っている。
 - ・いつも親子で主に早稲田児童センターを利用させてもらっている。最近は、貸し出しのおもちゃや体育館、図書室の利用が出来るようになり、遊べるものが増えたので、以前のように利用しやすくなったと感じる。貸し出しのおもちゃや本の返却用のボックスが用意されており、消毒をしてから戻すというように、コロナ対策も利用者が一目で分かるようになっているので、安心して利用することが出来る。職員の先生方がとても考えて工夫していることが伝わる。
 - ・他の児童センターもイベントを動画で配信したり、人数制限や時間を区切ってイベントを開催しており、昨年よりもさらに工夫して楽しめるように考えてくれることが分かった。

3.令和3年度後期モニタリング評価報告書について

【表決】 承認：12 反対：0

【ご意見等】 なし

【事務局】 なし

4.その他

《その他》

- 委員 ・夏休み等の大型連休中は、宿題をみんなで出来る場所があると、子どもも楽しく大人も助かるのでやってもらいたい。そこに、遊びに来た中高生が教えてあげることが出来たら、色々つながりが出来て良いと思う。
- ・本来の目的とはズレてしまうかもしれないが、自由研究、絵、習字をみんなでやってくれる場所の提供があると、親はとても助かる。
- 事務局 ・特に宿題の場所について、決まりはないが、職員が児童厚生員として、間に入り、小学生が中高校生と自然にふれあうきっかけとなれば考える。
- 委員 ・この夏休み中に、南児童センターと早稲田児童センターへ伺いました。例えば、早稲田児童センターで幼児が遊ぶことができるドーナツのおもちゃと、南児童センターのアイスを積み上げるおもちゃはほぼ同じような気がするが、一方では幼児不可だったため、とても残念だった。おもちゃについても児童館同士の共有や確認をしてもいいのではないかと思う。
- 事務局 ・おもちゃは安全性を考え、製造会社の対象年齢を基準としているが、それぞれの施設の構造上、厳密に定めてはいない。今後検討していく。
- 委員 ・私自身、児童館を利用する子育てから離れて久しく、時代も変わり、気が付かないことが沢山あると思う。今のコロナ禍、そして収束した後、利用者が児童館に求めていることはなにか、どんな需要があるのか、オンラインなどでアンケートなどをとってみてもよいのではないか。
- 事務局 ・指定管理者の運営する南と早稲田については、館内にアンケートを設置し、事業でもアンケートを実施している。今後北児童館も指定管理となるため、アンケートを実施していく。
- 委員 ・入館票の記入をWeb申請等で簡略化または、記入事項の省略可はどうか。
- 事務局 ・入館票の記入についてですが、来館者が帰宅後に陽性と判明された時などに、連絡を必要とする方の把握を時間をかけずに行えるようにという意味合いもある。記入事項の簡略化するには登録制にするなどが考えられる。今後に向けて検討していきたい。
- ・他市の児童館では学童クラブと併設されているところも多く、登録制にする施設もある。費用面や管理も含め運用にあたり、多くの問題があると認識しているが、今後の検討課題としたい。
- 委員 ・入館時の体温チェックが難しいので、小さい子は先生の体温計で測るに統一してくれると助かる。
- 事務局 ・入館時の体温チェックについて、今現在も月齢によって測りにくい場合は体温計で測ることも実施している。乳幼児については手動の体温計でも対応していく。
- 委員 ・こあらサロンの予約を前日より前から可能にして欲しい。
- 事務局 ・こあらサロンを含め、つどいの広場の予約については、当日発熱があることが多いため、この方法としている。利用者の意見を聞きながら今後検討していく。
- 委員 ・職員が職員室にすることが多いので、各部屋で遊んでもらいたい。職員と外で遊ぶということもしてくれるといいと思う。
- 事務局 ・職員との関わりだが、一人で来館した子どもと遊んだり、小学生から〇〇やるんだけど一人足りないから一緒にやって・・・とか〇〇先生一緒に遊ぼうと声をかけられることもあり、一緒に遊んでいる。コロナ禍以前は、竹馬や一輪車の日など外で遊ぶ時間もありましたが、現在は開催を見合わせている。コロナ感染のリスクが減ってくれば対応がもう少しできると考えている。
- 委員 ・児童館は、コロナ禍で子育てする保護者、孤立する子どもなどにとって、心の拠り所になる場所であり、関係機関に情報を繋ぐこともあるので、いずれにしても、児童館はコロナ禍前よりもその果たす役割は大きいと感じる。
- ・人と人との交流は、やはりコロナ前と比べて意図的に少なくしていると思うが、少しずつでも親同士、子ども同士が初めてましてと挨拶できる機会が増えているので良いと思う。
- ・コロナにより、外出が減り人と接する機会が減ったなか、情報交換や交流の場としても、大切な役割を担っていると実感した。
- ・いつも児童館の職員には子どもだけでなく親にも声をかけてもらい、元気をもらっている。毎回の消毒作業が大変な中、嫌な顔ひとつせず子どもと向き合っ

いるのが大変頼もしい。